

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
専攻実技 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	古峰拓真/杉山航平 川島基宏/須藤直也			実務 経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
アーティストやゲーム音楽、映像作品への楽曲提供に加え、楽器演奏やDJとしてステージに上がるなど各々が様々なジャンルにおいて活躍している。											
授業概要											
学内のライブイベント（Real Dreams、卒業ライブ等）に向けた楽曲制作、音源提出に向けた準備、卒業後のキャリアに向けての作品制作を行うことを目的とする。 2 年次の卒業制作であるポートフォリオの作成を計画し、卒業展へ向けての準備を総合的に行う。											
到達目標											
前期は計画スケジュールの制作するコンテンツの立案から音源制作、後期は録音作業、ポストプロダクション作業を行い、作品発表まで実践する。年間を通して作成した音源作品、映像なども含めたコンテンツをポートフォリオとして作品集にすることを到達目標とする。											
授業方法											
それぞれの制作に合わせた年間の制作プランを自分で組み立て、進捗状況の確認、計画の見直しをしながら制作を行うスキルを身につける。 音源、資料を交えてのプレゼンテーションを行う。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
筆記用具、ノート(五線紙も含む)、データを記録する外付けHDD(SSD)、ヘッドフォン（必要に応じてミニステレオ→標準フォンプラグの変換）を毎回用意すること。また自分の制作しているマシンを持参できる場合は持参すること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	前期を終えてからの進捗の確認、現状報告から後期からの制作進行を見直す										
第2回	録音に向けての準備を行う。譜面・プリプロ音源の完成度を確認する										
第3回	録音に向けての準備を行う。録音楽器演奏者の手配、連絡事項、資料送付の確認作業を行う										
第4回	スタジオ録音・DAW教室での単発録音 4 リズムセクション単発録音										
第5回	スタジオ録音・DAW教室での単発録音 ストリングスセクション単発録音										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
専攻実技 4	
第6回	スタジオ録音・DAW教室での単発録音 その他楽器の単発録音
第7回	録音を終えてからのポストプロダクション作業 リズムセクション録音の確認
第8回	録音を終えてからのポストプロダクション作業 ストリングス・その他セクション録音の確認
第9回	録音を終えてからのポストプロダクション作業 ミックスダウン作業
第10回	コンテンツチェック 映像その他のコンテンツの確認作業
第11回	コンテンツチェック 音楽とコンテンツの同期等トータル作品としての確認作業
第12回	年内最後の授業での状況報告とデータ提出
第13回	提示コンテンツとしての準備作業を行う。作品の音楽的なミスがないかをチェックする
第14回	提示コンテンツとしての準備作業を行う。完全パッケージにおけるミックス状況等サウンド面での総チェックを行う
第15回	ポートフォリオ最終形を提出する